

矢賀 学区だより

矢賀小学校

卒業証書授与式

『輝く未来を信じて』

令和四年三月十八日、矢賀小学校体育館において、「第一三一回卒業証書授与式」が厳粛に行われました。

昨年度、一昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置を講じての式となりました。出席者は卒業生と保護者、本校教職員のみで、保護者の方々には事前に健康チェックや手指消毒をお願いしました。式自体も、時間短縮を図るために内容を精選し、当日までの練習も必要最小限とするなど、コロナ禍とはいえ、卒業生にとっては厳しい状況での式となりました。

天候はあいにくの雨模様でしたが、久しぶりの雨に、中庭に咲く花々は喜んでるように見えました。会場内には、春夏秋冬の季節ごとの絵飾りが掲示され、卒業生たちに矢賀小学校で過ごしてきた日々を思い起こさせてくれました。

今年度の卒業生は七十二名。全員出席の下で卒業証書授与式が始まりました。証書授与は、コロナ禍になって初めて、

ステージの上で行いました。卒業生が主役として輝ける場所で、校長先生から一人一人、卒業証書を受け取りました。堂々とした態度で、立派に成長した姿を保護者の方々に見ていただくことができたと思います。



卒業証書授与式挙行

続いて、村中校長先生から「はなむけの言葉」をいただきました。まず、受け取った証書が、国内外から平和公園の「原爆の子の像」に捧げられた折り鶴を再生

した紙で作られたものだと言われ紹介されました。

そして、校長先生ご自身が心の中で大切にしておられる話をしてくださいました。それは、桜の花の話でした。桜がきれいな花を咲かせるためには、冬の厳しい寒さが必要であること。それを乗り越え、春の日差しを浴びた桜こそが見事に咲き誇る、という内容でした。それを卒業生の未来と重ね、困難に出会っても、それを乗り越え、美しい自分の花を咲かせてほしいと話されました。

最後に、卒業生による呼び掛け「お別れの言葉」も復活させて行いました。子どもたちにとって小学校での最後の授業となるこの日を、子どもたちの言葉で締めくくって欲しいという願いからです。時間を短縮しなくてはならないため、コロナ禍以前よりは短めの内容にはなりましたが、卒業生一人一人の言葉に込められた思いは、参加者の胸に響いてきました。一言一言を大切に紡ぎ、つなぎ合わせて「お別れの言葉」は完成しました。歌の練習もままならない中ででしたが「旅立ちの日に」を合唱し、卒業生七十二名は、広い世界へと立派に旅立っていました。

最後になりましたが、地域の皆様には、これまで様々な場面で卒業生を支えていただきました。本来であれば、卒業式にご臨席いただき、卒業と一緒に祝っていたかったのですが、今の状況をご理解いただきたく思います。そして、これからも温かい声かけや励ましをいただき、地域で支えていただければ幸いです。卒業生の成長を楽しみに、これからもご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



卒業生全員

幼稚園だより

「穏やかな旅立ち」

子どもたちが秋に植えた水仙が可憐な花を春風に揺らし晴天に恵まれた三月十七日(木)、本園第五十五回の修了証書授与式(卒園式)を挙行いたしました。

今年度も、昨年同様、新型コロナウイルス

令和四年度入学式も、今回の卒業式と同様に感染拡大防止の措置を講じながらの式となります。

広島市立矢賀小学校

教頭 掛田智花

【離任の挨拶】

「幸せだった九年間」

広島市立矢賀小学校 教頭 掛田智花

春は別れの季節と申します。私事ではございますが、この度、可部小学校へ転任となりました。覚悟はしていたものの、いざ現実となると寂しさがこみ上げてきます。

矢賀小学校では、担任として六年間、教頭として三年間、お世話になりました。子どもたち、保護者の皆さん、そして地域の方々、皆さんがとても温かくて優しい町でした。いつも笑顔と笑い声があふれる中で勤めることができ、私は本当に幸せ者でした。

本来であれば、皆様にお目にかかり、お礼の気持ちを伝えたいところですが、失礼をお許しください。私の大好きな矢賀の町が、これからもずっと笑顔と笑い声があふれる素敵な町でありますように。

学年末始休業(春休み)中です。春休み中も、子どもたちを引き続きお見守りいただきますようよろしくお願いいたします。



チャレンジ遠足

四月の予定

1日(金)入園許可日

8日(金)就任式 始業式

11日(月)入園式

*令和四年度園児受付中

広島市立矢賀幼稚園

園長 木村みゆき

児童館だより

三月十九日に「令和四年度放課後児童クラブ利用説明会」を行います。

新一年生から新四年生までの保護

者の方が40名ほど出席してくださいました。

毎年、この時期に利用する上でのお願いやお子さんの生活についてお話をさせていただいています。特に新一年生は入学前からの利用となりますので春休みの間は保護者の方の送り迎えを依頼し、出欠席の連絡の徹底をお願いしました。保護者の方のご協力があつてこそお子さんの安全を守る環境が整います。参加してくださった保護者の方はメモを取りながら熱心に聞いてくださいました。

新しい年度、また新たな課題や取り組まなくてはいけないことが出てくるかもしれません。保護者の皆さまや地域の皆さまのご協力を得ながら何よりも子どもたちが安全に楽しく過ごせるように取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

三月、児童クラブの子どもたちがとても喜んで取り組んでくれたことが二つありました。一つは大縄チャレンジです。なかなか入るタイミングが取れなかった子どもたちが何度もチャレンジするうちにスムーズに入れるようになったり、入ることで精



第五十五回卒園式

翌十八日(金)は四歳児の修了式でした。こちらも、いよいよ自分たちが大きい組になるという期待に胸を膨らませての式となりました。現在は

つばいで直ぐに縄に引つかかっていたのに続けて飛べるようになったり、みんな息を合わせた日々、上達していききました。

もう一つは、折り紙です。今回は、『ねこの入れ物』を折りました。

難しいところも頑張って折り進め最後には、思い思いにねこの顔を描き入れて仕上げました。児童クラブのおやつを入れてラッピングして家へ持ち帰りました。

「家でも自分で思い出しながら折っています。」

「すごく可愛いくて子どもが折ったとは思いませんでした。」など保護者の方からの声が聞かれ、ご家庭での話題にもなったようで嬉しく思いました。

児童館の一般の方の利用については現時点では部分開館という形での運営になっています。早く通常の運営に戻り子どもたちが楽しめる行事が実施できるようになつてほしいと願っています。

また、児童館の利用には利用登録が必要になりました。登録については、年度毎の更新となっています。児童館だよりを発行し、「児童館の利用及

び登録について」のお知らせを行う予定ですが、ご質問等ありましたら児童館までお問い合わせください。

広島市矢賀児童館

082(286)0543

こんにちは 保健師です

こんにちは。地区保健師の古川です。四月になり、暖かく過ごしやす

い季節となりました。新型コロナウイルス感染症対策を始めて長いもので二年が経ちました。

広島市こころの健康に関するアンケート調査によると、外出の頻度が減ったと答えた人でも、うつになる割合は増えていませんでした。しかしながら、親しい友人や近所の人との交流が減ったと答えた人のうつになる割合が高くなっていました。

こころの健康を保つには、家族、同僚、友人はもちろん、近所の人との交流が大切です。たとえ外出できなくても、電話やメールなどでしっ

り交流しましょう。

とはいえ、春は新しく何かを始めたくなる時期でもあります。感染対策を行いながら、外出して活動してみませんか。

東区では高齢者、子ども、障害者すべての人が「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる」地域共生社会の実現を目指して「東区地域支えあいリスト」を作成しています。

子育て親子、高齢者、障害児・障害者が体操や交流できる場、ボランティアの情報を掲載しています。

広島市のホームページに掲載していますので、ぜひこのリストにアクセスしてみてください。

東区地域支えあいリスト

検索



東区地域支えあい課

保健師 古川

082(568)7331



矢賀学区社協、二葉地域包括支援センター、郵便局、東区役所地域支えあい課には紙ベースのファイルリストがありますので、ご活用下さい。

儀 葬 花 生 弔 祝

・ 創業昭和六年 ・



株式会社

玉屋

シクシク

南区段原 TEL 261-4949

e-mail info@tamaya4949.jp URL http://www.tamaya4949.jp

玉屋ご相談サロン(本社前)

(費用・手順・お布施・家族葬・直葬など事前相談承ります)

葬儀場//玉屋サンクスホール 総店大通り